

令和6年度 第3回 豊田市稲武地域会議全体会 会議録

- 日 時 令和6年6月20日（木）午後7時00分～8時10分
- 場 所 稲武支所 団体会議室
- 出席者 委 員：安藤直人、今泉喜規、櫻井麻沙子、佐々木祐次、瀧澤育夫、
土屋桂子、西尾昌直、深見友和、三江元博、宮島明菜
（欠席者）：石橋佳子、海野浩、高崎太一郎、土本隆雄、中拓二
事務局：岡部副支所長、柄澤副主幹、原田主査

■次第

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 協議事項
（1）提言検討について
- 4 報告事項
（1）令和5年度わくわく事業実績報告について
- 5 その他

■議事（要約）

- 3 協議事項
（1）提言検討について

提言について協議が行われ、提言で「目指す姿」について委員から意見を求めた。
今回出された意見を基に次回会議でさらに協議していく。

また、テーマである「子ども」について、子育て中の保護者などにアンケート調査
を行うことを決定。次回会議で質問項目等の検討を行っていく。

各委員からの意見は以下のとおり。

- ・地域との関わりの中で子どもの自己肯定感を高めることが大事。
- ・子ども達は地域との関わりを通じて役割を与えられるのを喜ぶ。
- ・地域の子どもの成長やふれあう機会がお年寄りの楽しみになっている。
- ・山間地に住む子どもは、習い事や大勢の人と接する機会が少なく不利と感じる。
- ・地域行事の縮小などで子ども達が地域と関わる機会が減少している。
- ・塾などはオンライン授業でも対応できる。
- ・稲武の小学校は魅力的。（開放的な造りの校舎など）
- ・中学校のボランティア活動は、そのような活動に積極的ではない子どもが地域と関わる良い機会になっている。
- ・稲武の子は稲武に残ってほしいという思いはあるが強制はできない。でも、心の中に「稲武って良いな」という思いをもって育ててほしい。
- ・稲武に住む大人が地域の生活を楽しんでいる姿を見れば、子ども達が稲武に住みたいという思いを持ちやすいのではないか。
- ・今の大人が稲武で楽しく暮らすのが大事。子どもが欲しいと思うことや学びの場を地域みんなで応援し、環境を整えてあげることが大事。

4 報告事項

(1) 令和5年度わくわく事業事績報告について

- ・事務局より令和5年度わくわく事業事績報告について報告。

5 その他

- ・今泉委員より、商工会青年部の活動について情報提供。

次回開催：令和6年7月18日（木）午後7時 稲武支所 団体会議室